

アフガニスタン復興 NGO 東京会議

地域別分科会アピール

C. 中部 バーミヤン周辺

1. 地域の特徴

アフガニスタン中央部の高原地帯に位置している。冬は零下20～30度まで気温が下がり、11月～4、5月まで道路は雪で閉鎖される。ソ連軍侵攻、イスラーム教徒どうしの内戦、タリバーンと北部同盟の対立などで、多くの人びとが犠牲となった。

ここ数年は干ばつの影響が深刻である。食料生産性が著しく低くなり、栄養失調者が増えている。水不足により衛生が保てず、病人も増加している。紛争により学校、灌漑施設、倉庫、カルバートが破壊された。地雷による被害の潜在性も大きく、農業、インフラ整備など多方面に悪影響をおよぼしている。

2. 目的

(1) 緊急課題

- ・ 紛争と干ばつによる被災民の救済
- ・ 平和構築と紛争解決:地雷除去と支援物資配給

(2) 短期的課題

- ・ インフラ(学校、道路、灌漑施設、水道、住居、排水路、橋梁、医療機関)整備および社会インフラ(女性の能力開発、地域の参加)整備
- ・ 社会・経済サービス(教育、職業訓練、健康管理、母子のための施設、雇用創出)の復興

(3) 長期的課題

- ・ 持続的社會經濟開発(職業訓練、収入向上)
- ・ コミュニティ人口の安定化
- ・ 母子保護センター設立
- ・ 文化遺産保護
- ・ 遠隔地のインフラ整備
- ・ 農業発展、家畜健康管理サービス充実
- ・ 男女平等を目指した女性の地位向上
- ・ コミュニティ、NGO、政府の協力
- ・ 環境保護

3. ニーズ

(1) 農業・灌漑

- ・ 種子、肥料、農薬の供給
- ・ 農機具の導入
- ・ 植林用樹木のサンプル導入と植木畑開発
- ・ 灌漑システム復旧
- ・ 井戸復旧と掘削
- ・ 湧き水利用
- ・ パイプを利用した水の供給

(2) 畜産

- ・ 畜産用機械導入
- ・ 専門家の育成
- ・ 農民教育

(3) 保健衛生

- ・ クリニック復旧と増設
- ・ 医療器具、ワクチン、化学薬品の供給
- ・ 移動クリニック設営
- ・ 帰国者の雇用
- ・ ヘルス・ワーカーと助産婦に対する教育
- ・ トイレ増設

(4) 教育

- ・ 公教育(学校建設、学内施設 [図書館 実験室]の整備、教材の充実、幼稚園の設立)
- ・ 女性のための識字教育、教材の提供

(5) 雇用と収入向上

- ・ 復興事業に雇用創出プログラムを組み入れる
- ・ 地場産業の復興
- ・ 職業訓練
- ・ 市場発展

(6) 建設

- ・ 公共インフラ(道路、カルバート、橋、倉庫)整備
- ・ 河岸の土壌保全

(7) 文化の復興と開発

- ・ 史跡、歴史遺産の保護
- ・ 平和構築と和解に関する伝統的文化の制度化
- ・ 有用な伝統的儀式に対する支援

4. 提言

- (1) 復興プロジェクトの事前調査、政策決定および実施にコミュニティの人びとが参加すること
- (2) 帰国者へのサービスの充実
- (3) NGO の人材育成(奨学金・フェローシップ制度、研修プログラムなど)
- (4) 必要なリソース(資金、資材、機材、交通手段、通信手段、専門家)の確保
- (5) 適正技術の導入と拡大
- (6) 緊急時における必需品の配給
- (7) 図書館サービスの提供
- (8) アフガン NGO、国際 NGO、コミュニティ、政府間の協力と調整
- (9) バーミヤンの歴史編纂
- (10) 歴史遺産の保全と史跡物盗難防止
- (11) 絶滅種動物の保護と国立公園設立による保全
- (12) 畜産、林業発展
- (13) 都市と地方の格差是正、中部地方における収入向上プログラム強化